

図書館新聞



活動記録

R1 学生図書委員会



おはなしマラソン



おはなしマラソン としょかんクイズ

期間：7月18日～8月31日(おはなしマラソン)
年末(としょかんクイズ)
リーダー：田中舞(地域文化学科 2年)

おはなしレストランライブラリーで開催したおはなしマラソンは、スタンプラリー制で、利用者さんに読んだ本のPOPを作成してもらい、10冊分のPOPを作成したらメダルをプレゼントするという企画です。

今年はおはなしマラソンの係長をやらせていただき、塗り絵やメダルなどのおはなしマラソンに必要な道具の準備を係のメンバーと協力して行いました。

係のメンバーでなかなか日程合わず大変な部分もありましたが、係のメンバー全員はもちろん、係でない図書委員も協力してくれ、おはなしマラソンを予定通り行うことが出来て良かったです。

としょかんクイズもおはなしレストランライブラリーで開催します。展示してある本を手がかりにクイズを解いてもらい、全問正解した人に認定書としおりをプレゼントします。今年の開催はまだこれからなので、頑張りたいと思います。

読書マラソン

期間：6月19日～10月31日
リーダー：大廻日和(総合文化学科 2年)

読書マラソンは、開催期間中に本を読んで、その本の紹介を書いたPOPを作成してもらい、読んだ本の冊数とPOPの出来栄を競うイベントです。

今回は例年に比べて参加者が少なかったのですが、とても本にぴったりのPOPを提出して頂きました。その本に対する思いをPOPから感じる事ができ、嬉しかったです。

学生協働交流シンポジウム IN島根大学

日付：9月5日～6日

リーダー：野津成美（地域文化学科 2年）

今回、島根大学で行われた第9回大学図書館学生協働交流シンポジウムに参加させていただきました。ポスターセッションや交流会を通して、他団体の方々と交流を深めることができました。また、ワークショップでは、「やりたいことを形にしよう！」のテーマのもと、多くの利用者が楽しめるような図書館にするにはどうしたらいいか、参加者の方々と考えることができました。図書館の今後について深く考えるきっかけになったと感じます。

ポスター作成や司会など初めてのことが多く、至らない点はありましたが、参加してくださった方々の協力のもと多くの学びを得ることができました。1年生も、初めての参加にもかかわらず図書館案内等ががんばっていました。来年もぜひ参加してみたいと思います。



左
上
…
シン
ポ
ジ
ウ
ム
右
下
…
3
キ
ャ
ン
パ
ス
交
流



3 キャンパス交流会

日付：11月9日

リーダー：蔭山実玲（地域文化学科 2年）

毎年、出雲キャンパス、浜田キャンパスの学生図書委員会との交流会を行っています。

今年度は、11月9日に出雲キャンパスが主催の交流会がありました。出雲キャンパスの図書館を見学した後、3キャンパス混合のグループに分かれて出雲大社と門前通りを観光し、出雲市立大社図書館と海辺の多岐図書館を見学しました。イルカの泳ぐ美しい海を見ながら読書することができる海辺の多岐図書館を見学したことで、図書館自体がその町の魅力になる可能性を持っていると感じました。

地域文化学科で司書科目を履修している学生でも、他キャンパスの学生図書委員と交流や意見交換を行ったり、松江市外の図書館を見学し、職員の方から話を聞いたりする機会はあまりないので、学生図書委員会の中でも貴重な体験ができる魅力的な活動のひとつです。

読書会

日付：9月24日

リーダー：畑ひめか・松井美倅
(地域文化学科 2年)



読書会とは、一つの本をテーマとしてきめ、テーマとなった本を読んでから、会に集まった人たちとその本について話し合いをします。テーマとなる本を通して、大人数で話し合うことで、自分とは異なる価値観や考え方に触れることができます。

9月24日に行った合同読書会では、一般の方と学生図書委員で20名近くの方が集まりました。その日にテーマになったのが、佐藤愛子著「九十歳。なにがめでたい」という本でした。著者に歳が近い一般の方と、若い世代である図書委員とは、価値観が全く違い、お互いの考えを伝え合うことで多くの意見交換ができました。

学園祭

日付：10月19日～20日

リーダー：里田絵利子（地域文化学科 2年）



今年の大学祭では、手作りの「クリアしおり」や「フランクフルト・ミックスジュース」等の販売を行いました。

担当の係は7月頃から模擬店の企画、準備を始め、大学祭当日は係以外の学生図書委員や司書さんにも協力していただきました。天候の悪い日もありましたが、たくさんの方に来ていただくことが出来ました。

新図書館になってから初めての大学祭ということで昨年とは多少異なる面があり、戸惑うこともありましたが、学生図書委員の皆さんや司書さんの協力もあり無事に終わることが出来ました。

大学祭は学生図書委員全体で活動できる大変いい機会となるので、今後の活動につなげていきたいと思えます。

ビブリオバトル

日付：6月8日（地区予選）

7月11日（地区予選）

10月20日（地区決戦）

リーダー：野村星歌（地域文化学科 2年）

12月に東京のよみうり大手前ホールで行われる全国大学ビブリオバトル首都決戦に向けて2度の予選と地区決戦を行いました。

地区決戦は大学祭当日に開催しました。今年は大学祭でビブリオバトルを開催するという私にとっては初めての試みだったので、慣れないことも多く、一般の方からの意見ももらいつつ、なんとか無事に開催することが出来ました。

※ビブリオバトルとは、バトラーがそれぞれお気に入りの本を持ち寄り、5分間でプレゼンを行い、観客全員で「どの本が読んでみたくなったか」を基準に投票を行い、チャンプ本を決定する、書評合戦のことです。



図書館総合展

日付：11月12日～14日

リーダー：長谷川章乃（地域文化学科 2年）

図書館総合展は、全国の図書館関係者や図書館業界の企業などが参加し、最新の動向や情報を得ることができる国内最大の図書館界イベントです。神奈川県のパシフィコ横浜にて開催されました。

その図書館総合展のポスターセッションに参加しました。

今年度は「新旧図書館比較！～図書館はこう変わった～」をポスターのテーマに設定し、学生教職員合わせて293名にアンケートを実施、その結果をポスターにしました。

ポスターの作成に携わることで、普段なかなか聞く機会のない図書館に向けての意見をたくさん聞くことができました。今後、寄せられた意見・要望を反映しながらより良い図書館作りに学生が関わっていけるように更に頑張ります。



図書館新聞

期間：10月23日～11月13日

リーダー：野村星歌（地域文化学科 2年）

図書館新聞は、毎年活動報告を中心に発行しています。

今回の図書館新聞は、見ただけで楽しめることを目指して紙面を作りました。助けてもらいながら完成させたものです。ここまで読んでいただいた皆さんに楽しんでいただけていれば幸いです。

次のページからは、図書館新聞系のメンバーが何度も繰り返し読んだ本をテーマに本を紹介しています。ぜひ読んで気になった本を手にとってみてください。



テーマ：自分が何度も読んだ本



『精霊の守り人』

上橋菜穂子作 二木真希子絵 偕成社 1996年

女用心棒・バルサがひょんなことから新ヨゴ大国の第2皇子・チャグムの命を救ったことからこの2人の逃亡生活は始まります。数々の死闘を繰り返しながら続く旅と少しずつ回収されていく伏線に震えます。精霊の守り人自体はこの1冊で終了するのですが、バルサの旅はこの後まだまだ続いていく。このバルサ視点の物語「守り人シリーズ」と平行して描かれるチャグム視点の「旅人シリーズ」も是非一緒に楽しんでいただきたいと思います。平行しているようですが、守り

人シリーズの最終章『天と地の守り人』でバルサの物語とチャグムの物語はまた交わる…その瞬間の感動も…ぜひ1冊で満足せず、シリーズとして楽しんでほしいと思います。ちなみに、「様々な国や単語が出てきてわかりづらい!!」という方のために軽装版では用語をまとめたものがついているのでぜひそちらで楽しんでみてください。

(野村星歌・地域文化学科 2年)

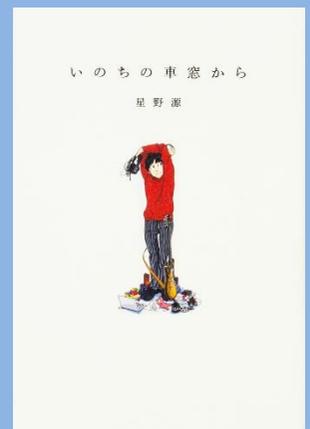
『いのちの車窓から』

星野源著 KADOKAWA 2017年

ドラマ「逃げ恥」や、大ヒット曲「恋」「SUN」で人気を集めた星野源によるエッセイ集。大河ドラマや二度の紅白出演と、怒涛の駆け上がりを見せた二年間の想い、経験、成長のすべてがここに。

私がこの本をおすすめするポイントは、読みやすさと表現の面白さです。星野源さんの実体験が書かれているため、話し言葉が多く読みやすい本になっています。くも膜下出血や人に馴染めなかった過去など、人気者になる前の苦労があったからこそ彼の優しさが伝わる本になっています。

(松井美倅・地域文化学科 2年)





『氷菓』

米澤穂信著 角川書店 2001年

私が何度も読み返した本として紹介するのは米澤穂信著作の『氷菓』です。

この本を何度も読み返したほどの魅力としては、まず無気力で省エネな主人公や天真爛漫で好奇心旺盛なヒロインといった個性的なキャラクターに引き込まれるところが魅力の1つです。キャラクターの性格が事件の謎の解明につながり、また謎を呼ぶといった学園ミステリー

小説となっています。「氷菓シリーズ」として1作目となるこの作品を読み、皆さんもぜひ主人公たちと一緒に氷菓の謎を解き明かしてみてください。

(植木香帆・地域文化学科 1年)



『山女日記』

湊かなえ著 幻冬舎 2016年

私が何度も読んだ本は、湊かなえ著『山女日記』です。この本は、作者が今まで書いてきた小説と違う雰囲気作品です。そして、作者が今までに登ったことのある山を舞台に山ごとに違う女性の物語が楽しめます。登場人物がそれぞれ違う悩みを抱えていますが、どれも共感できます。自分の人生、この選択であってると思ったときに、皆さんに読んで頂きたいです。また、登山の豆知識も知ることができ、この

本と同じ様に山に登りたくなる一冊です。

(和田祐紀・総合文化学科 2年)

『シンデレラウミウシの彼女』

如月かずさ著 たうみまゆ画 講談社 2013年

ガクとマキは兄弟のように育った中学の同級生。同じバスケ部、同じクラス、近くで育ってきた。二学期の初日、教室にマキの姿がないことを心配したガクは、マキの家に行くとそこには女の子になったマキがいて？！

典型的な転生物じゃありません。ちょっと複雑で甘酸っぱい恋愛小説です。ドロドロしたこともなくスッキリと読める点がオススメです！私は5回読みました。

(中村はるか・地域文化学科 1年)



『キノの旅』シリーズ

時雨沢恵一著 メディアワークス 2000年

ライトノベルと侮るなかれ。主人公・キノがモトラド（注・二輪車。空を飛ばないものだけを指す）のエルメスと共に国から国へと旅をして様々な人々に出会う物語。魔法はない。モトラドとサモエドは喋るけど。違う考えを持つ人々が同じ世界で生きているなんて当たり前だ。悲しかった出来事も元には戻らない。それでもキノは、旅をする。おすすめは作者のあとがきです。ネタバレは皆無なのでぜひあと

がきから読んでください。

(長谷川章乃・地域文化学科 2年)

『トランスヒューマニズム』

マーク・オコネル著 松岡俊輔訳 作品社 2018年

この本は、トランスヒューマニズム（科学技術によって人体を強化し、人間の生活や状況を向上させようとする思想）について、それに関わる様々な事業・支持者の見解を基に「死に対する価値観の検討」「人間の条件に対する検討」などが記されています。

この本が好きである理由は、一つにトランスヒューマニズムそれ自他に関心が高いこと、また「私であるとは何か」や「死の超越」という倫理的话题が取り上げられており、とても興味を惹く話題であったか



らです。

著書の中で、基板非依存型マインド（自分の意識を別の有機体に保存すること）を生み出すことを目的とした様々な非営利団体が取り上げられていました。そもそも常識的には、意識は自分の体（脳）によって作られており、その段階を経て初めて「私」が成立すると考えられています。しかし基板依存型マインドは自分の体を捨て、別の個体に憑依することを要請します。筆者はここで「その個体は私であると言えるのか→そもそも私を条件付けるものは何か」という問題に直面します。私を含め一般人は、そのような疑問を持つ機会が少ないため強い刺激を受けました。

また「永遠の命の獲得」を掲げ「不死バス」と称したキャンピングカーで布教を行う大統領候補・その支持者の話題も取り上げられていました。彼らは、死を悪しき事と捉え、トランスヒューマンとなることでそれを超克しようと企んでいました。この話題を受けて、身体強化による長寿の獲得によって、生きがいを求める欲がなくなるか…それを達成した上で一体どこへ向かっていくのか…と自問自答しました。

他にも多くの話題について、それを自分自身で考えることができました。本から単に情報を得るのではなく、読みながら疑問や意見が生まれるという点で、この本はとても読みがいのあるものだと思います。

（万代結・地域文化学科 1年）

年間活動一覽

6月8日 ビブリオバトル地区予選

13日 新入生歓迎会

18、20日 第1回選書

19日～10月31日 読書マラソン

7月11日 第2回ビブリオバトル地区予選

18日～8月31日 おはなしマラソン

9月5、6日 学生協働交流シンポジウム in 島根大学

24日 合同読書会

10月19、20日 飛鳥祭・

20日 ビブリオバトル地区決戦

11月9日 3キャンパス交流会

12日～14日 図書館総合展

16日 しまね大交流会

18、22日 第2回選書

そのほか島大コンシェルジュさん主催のA B Dなどにも
参加させていただいています！



プロフィール

名前の由来：library→らぶらり→らぶちゃん
 年齢：不詳(5歳との説も...)
 チャームポイント：耳
 (広辞苑が3冊のります)
 好きな本：『わたしのワンピース』
 仕事：もっと学生に本を読んで買うために、
 図書館の広告塔として活動しています

学生発の 図書館キャラクター らぶちゃん

とってもキュートな
働き者です♡



**kumoriと
コラボも!**

↑可愛いコラボ
アイテム出しています



学生に好評の
らぶちゃんグッズ

図書館のイベントの
ポスターやアイテム
に登場して大活躍!

学生図書委員が着
ている「らぶちゃん
ポロシャツ」

**LINEスタンプ
発売中**



Twitter





2019年6月 学生図書委員会新入生歓迎会にて